

西大阪地域における高潮対策の効果①

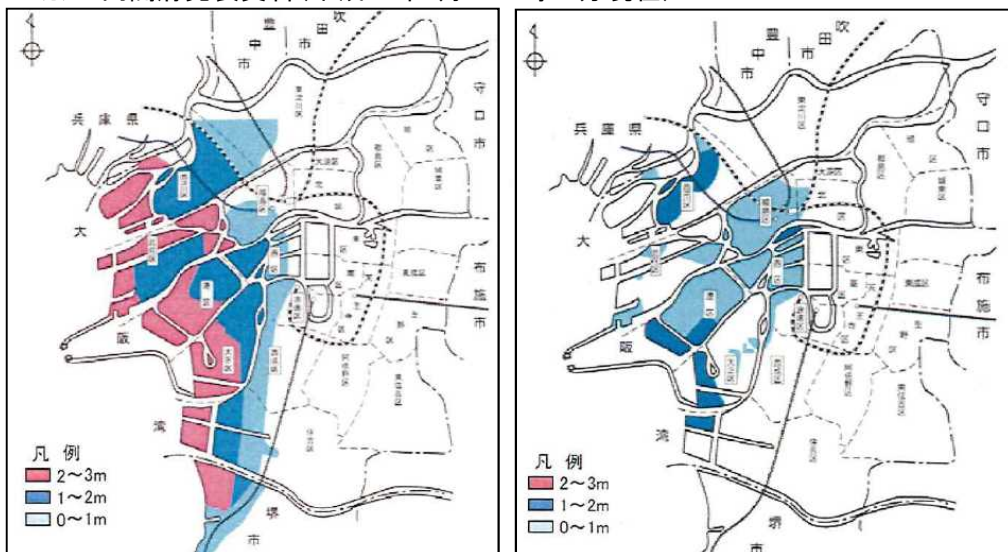
- 平成30年台風第21号により大阪では、過去の最高潮位(昭和36年第2室戸台風)を超える潮位を観測した。(平成30年9月5日気象庁発表資料より)」
- 西大阪地域は、地形的条件から高潮が起こりやすく、室戸台風(昭和9年)、ジェーン台風(昭和25年)、第2室戸台風(昭和36年)の高潮によって大きな被害を受けたが、第2室戸台風以降進めている**防潮堤、防潮水門、排水施設等の高潮対策によって、今回の台風では高潮による浸水被害は発生しなかった。**

●H30台風第21号と過去の台風の比較

	室戸台風	ジェーン台風	第2室戸台風	平成30年台風第21号
観測年月日	S9.9.21	S25.9.3	S36.9.16	H30.9.4
最高潮位(OP+)m	4.20 (推定値)	3.85 (推定値)	4.12	5.13※1
浸水面積(ha)	4,921	5,625	3,100	0
浸水戸数(戸)	床上	(府下)	59,198	(府下)
	床下	166,720	(府下) 35,058	0※2
死傷者(人)	(府下) 17,898	(府下) 21,465	2,165	(府下) 65※2

※1 木津川水門外水位における瞬間値(平成30年9月4日14時20分)

※2 内閣府発表資料(平成30年9月5日6時30分現在)



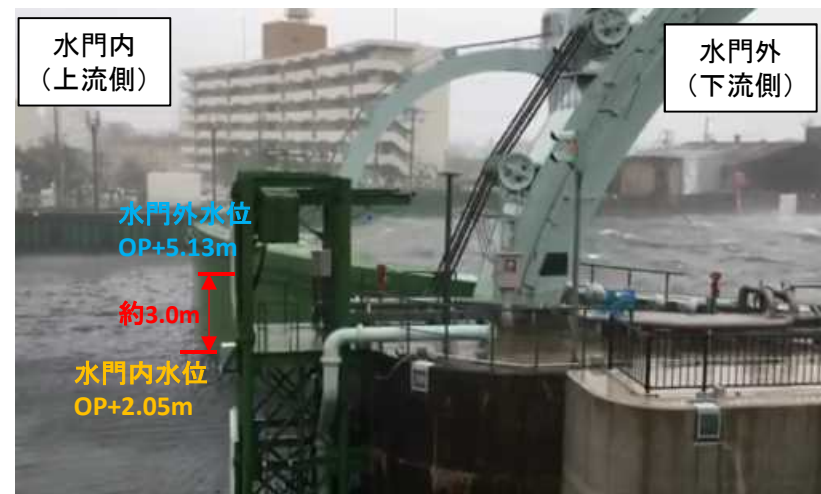
ジェーン台風(昭和25年) 第2室戸台風(昭和36年)
図 過去の台風における浸水範囲

●主な施設操作状況

○三大水門(安治川、尻無川、木津川) : **昭和45年完成**

・9月4日12時
高潮に備え、三大水門を**閉鎖**

・14時20分
水門外水位OP+5.13m、
水門内水位OP+2.05mを
観測し、**水門の内外で
最大約3.0mの水位差と
なる。**



水門閉鎖後における木津川水門

○毛馬排水機場 : **昭和56年完成**

水門閉鎖時の内水を排水するため、毛馬排水機場において最大6台(全台)のポンプを稼働させ、**総量約426万m³**を淀川に排水した。



主ポンプ設備6台
口径Φ4000mm×4枚羽根分
総排水量55m³×6台 330m³/s

西大阪地域における高潮対策の効果②

- 高潮対策において、かさ上げの困難な橋梁箇所や沿岸荷役用出入口等は防潮鉄扉を設けて、高潮の進入を防ぐ高さを確保している。
- 今回の台風では、過去最高の潮位を観測したが、各水防団をはじめとする関係機関と連携し、的確に水門・鉄扉を閉鎖することにより、高潮による浸水被害を防いだ。

●水門・鉄扉の閉鎖及び排水機場の運転状況

施設	操作	数	内訳
大水門	閉鎖	3基	安治川水門・木津川水門・尻無川水門
中小水門	閉鎖	6基	正蓮寺川水門・六軒家川水門・三軒家水門、出来島水門、旧猪名川水門、番田水門
防潮鉄扉	閉鎖	49基	公道鉄扉18基、私道鉄扉29基、阪急神戸線鉄扉2基
樋門	閉鎖	6基	
排水機場	運転	3場	毛馬排水機場、旧猪名川排水機場、高見排水機場

○阪急神戸線 防潮鉄扉(神崎川)の閉鎖状況

・9月4日14時37分
防潮鉄扉 **閉鎖完了** → ・9月4日18時36分
防潮鉄扉 **開放完了**



○国道2号 防潮鉄扉の閉鎖状況

・9月4日13時00分
防潮鉄扉 **閉鎖完了** → ・9月5日2時15分
防潮鉄扉(左門橋) **開放完了**



鉄扉閉鎖時の左門殿川の様子



神崎大橋左岸 (神崎川)



左門橋左岸 (左門殿川)